

# 1983 (昭和58) 年度



## 一輪車の時代

一輪車とは、小石や土砂を運ぶ作業用の車。一見不安定だが、確実に前進する様子がなぜか1期生の敢闘ぶりに似ている。手作りの伝統作りを目指した、まさに師弟同行の「創」の時代である。

# 創

一期生だけの学校。創。百年の基礎となるしっかりとした土台を創る。新生伊予高、文武両道への第一歩。

# 沿革～昭和58年度（1983）～

月日	主な学校行事
4.8	開校入学式 入学許可者455名
4.24	<b>体育部対外試合初出場初勝利</b> <b>女子ソフトボール中予大会 本校 7-2 松山商</b>
4.28	第1回遠足
5.2	PTA結成大会・第1回総会
5.6	女子夏制服決定
5.11	生徒会役員立候補者立会演説会
//	第1回家庭クラブ総会
//	生徒募集「開校よろこびの歌」入選作発表
5.20	開校落成式 ※この日を開校記念日とする。
6.1	生徒会会則 決定・施行
6.4	県高校総合体育大会開会式
//	応援合戦初参加「はじめまして」

月日	主な学校行事
7.13	生徒募集「応援歌」入選作発表 ※野球応援で合唱
7.17	<b>西日本アマチュアレスリング 個人優勝（杉本）</b>
7.18	第1回クラスマッチ
7.19	<b>高校野球選手権大会県予選初出場初勝利</b> <b>本校 5-2 津島</b>
8.6	<b>全日本吹奏楽コンクール県大会出場 B部門金賞</b>
8.28	集団宿泊訓練（30日まで） ※国立大洲青年の家
9.20	第1回運動会（白龍・鳳凰グループ制）
11.3	松前町文化展示会参加（伊予高紹介、芸術部出品）
11.11	秋季芸術週間開始（17日まで）
11.21	持久走週間開始（26日まで）
11.22	PTA研修（西条高校・西山興隆寺視察見学）
12.15	生徒募集進入路愛称「ILEX Road」（もちの木通り）と決定
2.26	<b>愛媛学生書道展 優秀学校賞</b>
3.19	学年末終業式 校歌制定 ※作詞第1期生
3.30	第II期工事竣工
	（普通教棟・芸術教棟・体育器具収納庫等）



創立記念植樹



開校落成記念に実施した揮毫

伊予高校の歴史はこの年から始まりました。たった1学年のみですが、生徒たちは多くの成果を上げています。「伊予の国の伊予高」の伝統を刻んでいくのです。

・ セクション 1 ・

## 開校入学式 1983.4.8

4月8日、愛媛県教育委員会による開校宣言の後、石丸弘之校長より期待と意欲に瞳を輝かせた455名の入学を許可する声が力強く響きわたり、ここに愛媛県立伊予高等学校の栄えある1期生が誕生した。



真剣な表情で入学式に臨む  
1期生455名。

・ セクション 2 ・

# 遠足 1983.4.28

遠足を伊予高校の伝統行事の一つに育てることとし、次の基本方針のもと、行先が決定された。

- ① 地域の中での伊予高校を考えるにふさわしい場所
- ② 心身の鍛錬と美しさ認識のため徒歩にする
- ③ 奉仕活動によって地域と学校との交流を図る

➡ 谷上山へ!



## 生徒会発足まで

4月12日

生徒会発足準備委員決定

4月13日～

生徒会発足準備委員会

【議題】

- ① 部活動の発足
- ② 行事計画
- ③ 補助バッグの選定
- ④ 生徒会会則 審議
- ⑤ 生徒会役員選挙準備  
など

5月4日

選挙運動開始

5月11日

立会演説会、選挙、開票

5月17日

生徒会、発足

## ・セクション3・



## 生徒会 発足！ 1983.5.17

伊予高生徒会最初の仕事は、開校落成式の日に行われる綱引き大会と砥部焼の素焼湯呑への揮毫であった。先生方の協力もあり、成功に導くことができたが、その後はすべて白紙の状態だった。

県総体では生徒会執行部と応援経験者が応援リーダーとなり、応援の仕方を考えると同時に、人文字の作成も行った。

その後、クラスマッチ、運動会、芸術週間などさまざまな学校行事の企画・運営に携わった。

# 「開校よろこびの歌」 入選作発表

生徒全員から募集したこの歌は、後の生徒手づくり校歌の原型となった。

作詞した坂和さんは、当時次のように記している。

この美しい自然に育まれながら成長していく私達の姿を、どうやって表現したらいいのだろうと悩んでしまった。1期生の意気が伝わってくるような詞を作ることは、難しいのだなと思った。

そこで次の3つの点に注意して書くことにした。

第一に、伊予高を取り巻く自然を入れること。

第二に、未知の未来に向かってはばたく生徒の姿を入れること。

第三に、伊予高が出来たことに対する喜びをいれること。・・・ (『おおとり』創刊号より引用)

## よろこびの歌

作詞 坂和栄子  
作曲 阿部正幸



1. みどりの やまやま せに うけて せと  
2. たかき りそを むね にひめ おおと



の うちう み みは るかし ここ  
り のご と たく ましく とわ



に いよこう かい こうす 1.2. われ  
の でんとう きず きつつ



らの いよこう われら いっせ い しん  
みら



り もとめ て のび ゆかん  
い めさし て はば たかん

## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・セクション5・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



玄関前に立てかけられた看板。生徒たちが受付を担当し、来校された方々をお出迎えします。

.....

## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・ セクション 5 ・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



式典の様子。この日は、本校教職員と1期生が初めて正式に来客を迎えた記念すべき日であった。

.....



## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・セクション5・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



来賓の方々。「豊かな情操と進取の精神に富む心身共に健やかな若人たれ」(県議会議長祝辞) など励ましの言葉を多数いただいた。

.....

## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・セクション5・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



開校記念綱引き大会終了後の表彰伝達。ちなみに優勝は110HR、準優勝は106HRであった。

.....

## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



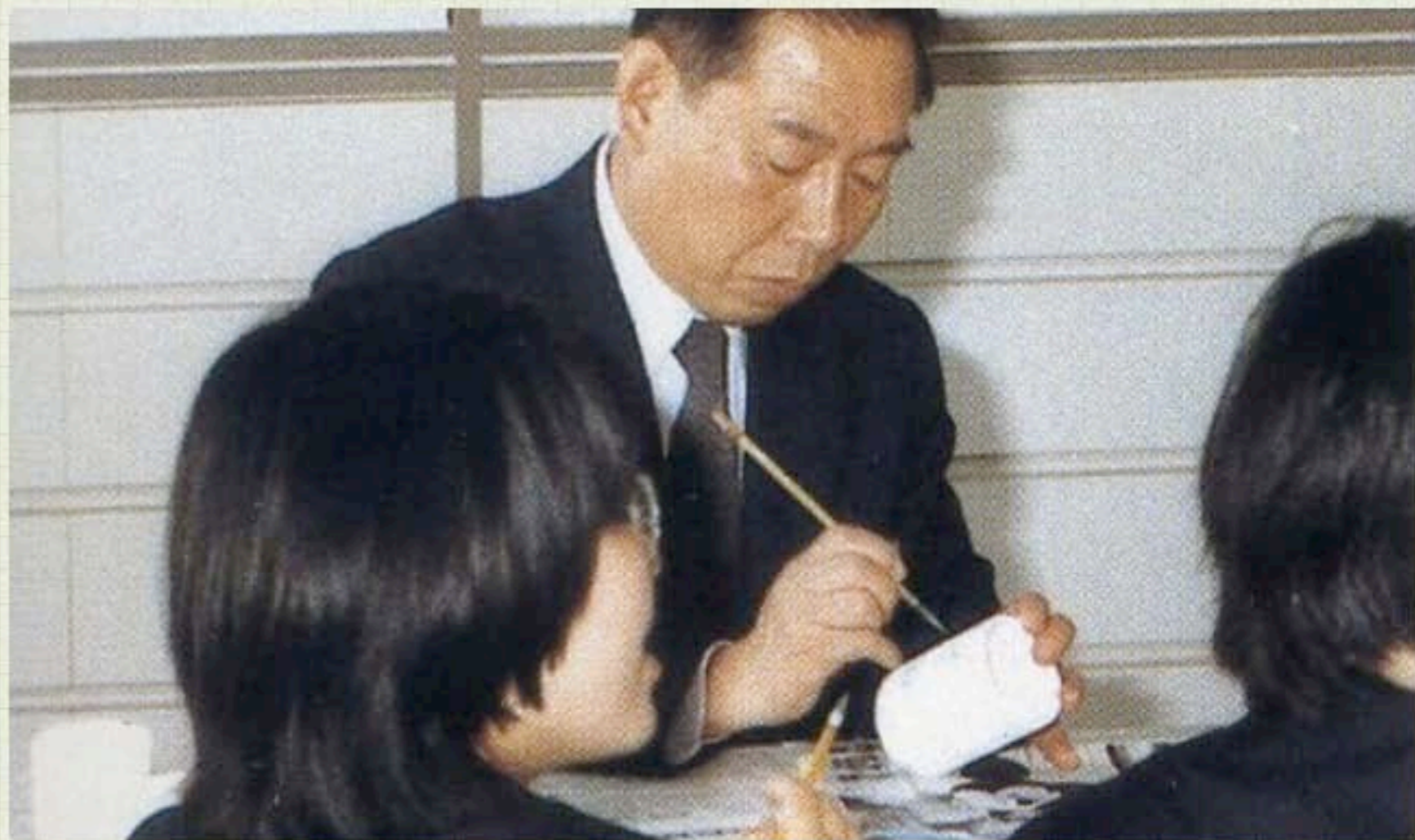
(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・セクション5・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



湯呑への揮毫。全校生徒および教職員約500名が特別教棟に集い、皆それぞれが様々な思いや願いを込めて一筆書き付けた。

.....

## 式次第

### 序曲

- 一、開式の言葉
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、PTA会長あいさつ
- 一、生徒代表あいさつ
- 一、よろこびの歌斉唱
- 一、万歳三唱
- 一、閉式の言葉



(午後)

- ◎砥部焼の湯呑に揮毫
- ◎開校記念綱引き大会

## ・セクション5・

# 開校落成式 1983.5.20

以後、この日が開校記念日として設定されました。



揮毫後の湯呑。一つ一つの文字に記入したその人の思いがこもる。

.....

[ 県総体結果 ]

◎ ハンドボール部

一回戦 本校 11-15 今治工

◎ 陸上部 男子

800m・1500m 予選出場

◎ ソフトボール部

一回戦 本校 2-0 小田

二回戦 本校 3-13 西条農

◎ テニス男子

一回戦 本校 0-3 松山北

◎ テニス女子

一回戦 本校 0-3 今治北

・ セクション 6 ・



初めての県総体 1983.6.4

第37回県高校総体総合開会式当日。選手及び応援生徒は現地集合した。本校の応援席はライトスタンドで、右に松山東、左に松山工業高校であり、応援順序は4番目で松山商業高校の次であった。応援は、初陣らしいはつらつとした態

度で共感を呼び、他校や一般観客から一段と大きい拍手を受けた。(次ページ参照)

(出場した部活動)

陸上部、ハンドボール部、  
テニス部、ソフトボール部

人文字	拍子 (応援の要領)
伊 予	リーダーの「オス」の合図と同時に出す。
	リーダーの「愛媛県立伊予高等学校の・・・1・1・3拍子 オーリャ」
I	タンタタ タンタタ タンタンタン 「オー」の声に合わせて
IY	2回目
IYO	3回目
<b>IYO</b>	オール拍手 「オー」で
今日ハ	リーダーの3・3・7拍子に合わせて
ハジメ	2回目
マシテ	3回目
	「ファイト、ファイト伊予高」
伊 予	「伊予高頑張ろう」
1期生	「1期生がんばろう」
	全員起立して、上着は下に落とす
	動作をつけて 「フレイフレイ伊予高」
	「オネガイシマス」と礼をする。

応援リーダーたちと関係教員とが相談して決定。5月28日から全体の応援練習を開始し、生徒各自の座席番号の確認、上着の上げ下ろしの仕方、手拍子、掛け声、動作の練習を行った。

果たして結果は・・・



• セクション 7 •

# 「応援歌」 入選作発表

百十編の応募の中、五編が優秀作として表彰された。夏の野球大会の応援の際、そのうちの1編が歌われた。

応 援 歌

オー オー ソーレ  
 しょうりを呼ぶとりにおおとりの  
 わかいちからと ころとわざで (ソーレ)  
 おおきくたかくはばたこう  
 フレー フレー 伊予高 Let's go Let's go 伊予高  
 がんばれ いよう ちからのかぎり  
 (手拍子) (手拍子)

力の限り  
 がんばれ 伊予高  
 レッツゴーレッツゴー  
 伊予高  
 フレーフレー 伊予高  
 大きく高く羽ばたこう  
 若い力と心と技で  
 勝利を呼ぶ鳥 鷗の  
 応援歌



# 初陣伊予 初戦を飾る

## 7回にダメ押しし3点

### 津島惜しい初回の先制機

#### 松山球場

【一塁】川本康は、  
津島 000001000 2  
伊予 00000000X 5  
三塁打 川本康、津島、田中  
二塁打 伊予(宮野)、伊予(武野)  
一塁打 伊予(宮野)、伊予(武野)  
二(田中)、伊予(山崎)、川  
本康の試合時間、2時間4分  
【審】初陣伊予が全一年  
生なら津島も六人が一年生と  
いうラッシュな組み合わせ、  
伊予が先手すれば、津島が追  
いつくという勝負を懸けた  
が、結局投手の制球力の差  
が明暗を分け、伊予が初戦を  
飾った。

伊予は二回、中前打の川本  
康を三塁打で送り、三塁  
の遊ゴロで川本康は二、三塁  
間で抜かれたが、津島が中  
の間に二盗、続く川本康が中  
要左三塁打を放って津島を  
迎え入れ、さらに内山の三盗  
間を打て川本康もかえって二盗

を先取した。  
勝負を決めた七回裏の3点  
は伊予にとってはず運だっ  
た。まず先頭の川本康が遊撃  
前へ内野安打、二塁は三盗ロ  
で川本康が二封されたが、内  
山が右前打、坪内が死球で一  
死満塁、このあと伊予は代わ  
った木下から三死球で押し  
出した3点をもらい、勝負を  
決めた。  
津島も先発チームの意地を

見せよく反撃した。六回裏、  
津島の右翼手三塁打と投手の  
打球ミスで一点を返した。  
七回には一死後、田中が  
三塁打、二死後坪上が中前打  
で二塁に押し上げた。  
津島は惜しまれるのは初回  
の攻め、二死、二死球で一  
死満塁の先制機をつかんだが  
結果がなかった。結果的には  
この運機が伊予を勢いづかせ  
たようだ。

監督もいい試合はおろか、会  
心の勝利に思わずホオがゆる  
む。  
九回を投げ抜いた川本康は  
「一回のピンチを切り抜いた  
ので自信がわいた。同点にな  
ったときはシュンとなったが  
すぐ点をとってくれたのでま  
た元気が出た。いい当たりが  
あったけどみんながよく守っ  
てくれた」と勝利インタビュー

また先制点をたたき出した  
川本康は「夢中で打ったらせ  
ンターを抜けていた。打った  
のは高めの直球、練習の成果  
を出せたと思う」とうれしそ  
うにしたたる汗をぬぐった。  
悪投球で2失策が記録され  
たが、捕球の方はノーエラー  
の伊予サイン。今春初戦した  
ばかりで、練習に打ち込めた  
のは三カ月足らずだが、ナイ  
ン全員がその成果を十二分に  
発揮したようだ。



【伊予—津島】初勝利の瞬間、思わずかけ寄って喜びの握手を交わす川本康—坪内の伊予バッテリー

勝ちが迷がさんぞ  
①伊予がはつらつとした  
試合運びで初陣を飾った。試  
合前「勝負より初陣らしくい  
い試合を」と控えめに話して  
いた監督が真実を語り、しがし、  
二点先取するぞ、「いけるぞ、  
勝ち喜び」とやはり勝ちを意  
図した様子。七回3点をリー  
ドすると選手への指示も一段  
と厳格がこもり、もはや勝ち  
は迷がさんぞ」の表情が読み

とれた。  
結局ゲームはもう二で伊予  
の勝ち。二年生だけの初陣で  
の勝利は、戦後記憶がない「  
（無高野産校）という快挙  
に、試合後の伊予ベンチはわ  
きにわいた。  
「みんな本当に大きくやって  
くれた。五回ごろから川本が  
バテきたったが、よく踏ん張  
ってくれた。またまたの点ほ  
あるが、きょうの試合なら5  
点はやりたい」控えの坂口

見せたぞ！  
一年生  
パワー

・ セクション 8 ・

## 全日本吹奏楽コンクール県大会出場



初出場で、金賞を獲得しました！（B部門）

・ セクション 9 ・

## 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



入所式後に行われた石丸校長による講話。「規律正しい集団生活を行う中で、伊予高1期生としての自覚を新たにさせ、心身ともにたくましい人間を育てる」という目標を達成すべく、熱く語りかけた。

.....

・ セクション 9 ・

## 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



野外活動（カヌー） インストラクターの説明を真剣に聞く1期生。

.....

・セクション 9・

# 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



ボートをそれぞれが運搬し、いざ川へ！

.....

・ セクション 9 ・

## 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



いよいよ実践。あせればあせるほど、同じ所でくるくると回るばかりで少しも進まない。仲間の励ましで岸まで自力で戻れたとき、「独りじゃない、もう安心だ。」と感じた・・・。

.....

・ セクション 9 ・

## 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



野外活動（オリエンテーリング） 地図を見ながらルートを確認！

.....

・ セクション 9 ・

# 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



野外活動（オリエンテーリング） 地図を見ながら・・・

.....



・ セクション 9 ・

## 集団宿泊訓練

1983.8.28～8.30

国立大洲青年の家にて実施



野外活動（オリエンテーリング）歩きながら何を思う？

.....

• セクション 10

## 第1回 秋季運動会

1983.9.20

白龍グループ

VS

鳳凰グループ

力と技とアイディアを  
競う手づくりの運動会

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

運動会のテーマは・・・

「創」

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

互いに創意工夫し、全生徒が  
一致協力して準備に当たり、  
創設期にふさわしい内容で、  
しかも定められた期間で盛り  
上がりのあるものにする！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

白龍グループ

(101、103、104、105、109)

グループテーマ：「闘魂」

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

鳳凰グループ

(102、106、107、108、110)

グループテーマ：「団結」

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

競技開始！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



# 入場行進

記念すべき「第1回秋季運動会」の文字が見える

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。



第1回 秋季運動会プレゼンテーション



鳳凰グループ  
グループ旗を翻し、前進する！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



# 白龍グループ

挙手をして、審査員に存在をアピール！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



# 結成直後の吹奏楽部

素晴らしい演奏で、会場内を華やかに！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



# 初の選手宣誓

校長先生に健闘を誓う！

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



## 装飾（鳳凰グループ）

大空高く華麗に、かつ力強く飛び回る鳳凰を表現

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



## 装飾（白龍グループ）

天界の神である白龍が地上に舞い降り、海で猛威を振るう姿を表現

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



あれはだれだ (仮装)

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



あれはだれだ (仮装)

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。



第1回 秋季運動会プレゼンテーション



応援

※2部に分けて行われた

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



組立体操

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション



組立体操

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

# 結果発表

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

応援の部

鳳凰グループ

装飾の部

白龍グループ

仮装の部

白龍グループ

競技の部

白龍グループ

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

第1回 秋季運動会プレゼンテーション

総合優勝

白龍グループ

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

# その他資料

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。

# 第1回 秋季運動会プレゼンテーション

## プログラム (表)

第1回  
**秋季運動会**

歌 花

第1回伊予高等学校  
校長 石丸 弘之

清涼の秋、皆様には、ますます御健  
康のことと存じます。

さて、本校第1回の秋季運動会を下  
記により開催いたします。

つきましては、御多忙のこととは存  
じますが、万障お繰り合わせのうえ、  
ぜひ御来会いただき、御声援下さいま  
すようお願い申し上げます。

1. 日 時 昭和56年9月20日(火)  
午前8時30分  
(雨天順延)

---

よろこびの歌

1 緑の山+ 緑に受けて 瀬戸の内海 筑はまかし ここに伊予高 輝けす 我らの伊予高 我ら一校生 真実求めて 喜びをかみ	2 高き理想を 胸に抱め 奮いごと たくましく 永遠の伝統 築きつつ 我らの伊予高 我ら一校生 未来目指して 喜びをかみ
--	--

---

応援歌

勝利を呼ぶ鳥 嵐の  
若い鳥と 心と鼓で  
たくく 高く 飛ばれこら  
ブレー ブレー 伊予高  
レッツゴー レッツゴー 伊予高  
がんばれ 伊予高 力の限り

---

会場設営図

伊予高初めての、かつ手づくりの運動会は、燃える伊予高生の姿を印象づけた。





・ セクション 11 ・

## 秋季芸術週間

1983.11.11～11.17

いくつかの活動を紹介します。



家庭経営室で行われた茶道クラブによるお茶会（12日実施）。

...

・ セクション 11 ・

## 秋季芸術週間

1983.11.11～11.17

いくつかの活動を紹介します。



報道部による伊予校史写真展。手前には華道クラブによる生け花が見える（会議室）。

...

・ セクション 11 ・

## 秋季芸術週間

1983.11.11～11.17

いくつかの活動を紹介します。



11月16日の放課後、談話室で行われたチャリティーバザーの様子。このお金はNHK歳末助け合いの義援金とした。

...

・ セクション 12 ・

大雪 1984.1.19

伊予高校初めての雪景色



雪の伊予高。白い校舎に雪の白が重なる。

.....

・ セクション 12 ・

大雪 1984.1.19

伊予高校初めての雪景色



少し離れた所から撮影。普通教棟はまだ建設中である。

...

・ セクション 12 ・

大雪 1984.1.19

伊予高校初めての雪景色



登校風景。歩きにくそう。

...

・ セクション 12 ・

# 大雪

1984.1.19

伊予高校初めての雪景色



雪合戦に興じる1期生。雪の日にするには、今も昔も変わりません。

.....



・ セクション 13 ・

## 入学者選抜学力検査

1984.3.12～3.13



2期生を目指す受験生に、「共に作ろう伊予高を」と1期生が呼びかけた。



FUJICOLOR NM 84

こんな立て看板も作成しました。

## 校歌制定 [ 学年末終業式時 ]

1984.3.19



119編もの応募の中、優秀作8編を土台に、作詞者「第1期生」として制定された。作曲は、芸術科 阿部正幸教諭（当時）に依頼された。写真は、表彰を受ける作詞者の第1期生たち。

# 全員の手づくり校歌

校歌制定委員長 石丸 博 (教頭)

本校では、開校当初より、教職員・生徒一体となった学校創設を目指し、各種行事はもちろん、部やクラブの設置、女子の夏制服の選定、環境美化活動、応援歌の募集・選定などをはじめとして、あらゆる分野にわたって生徒たちの参画を求めてきた。それは、教育活動の本質である創造と成就の体験をさせることと同時に、それらをとおして、愛校心を自らの心に育てて欲しい私たち教師の願いからでもあった。

昭和58年7月20日、終業式で校長が「一学期の君たちはよく頑張った。その君たちだからこそ、私から夏休みの宿題を出そう。みんなで校歌を作らないか」と呼びかけられた。これが、作詞者が高名な詩人でもなく文学者でもない、手づくり校歌への第一歩であった。

(『おおとり』創刊号より引用)

# 校歌

作詞 第一創包  
作曲 河野正幸

光あふれる伊予の原

紫紺の旗の翻る

真理の泉 汲まんとして

集う我らの情熱燃ゆ

青春の軌跡描きつつ、

熱き身体を鍛えゆく

ああ伊予高栄えあれ

潮<sup>うしお</sup>たたえる伊予の海

鵬<sup>おおとり</sup>のこゝと天<sup>あま</sup>翔<sup>が</sup>ける

高き理想物に秘め

進む我らの意気高し

若き魂磨きつつ、

永遠<sup>とわ</sup>の伝統築きゆく

ああ伊予高栄えあれ

・ セクション 15 ・

## 格技場神事・部室入室行事

1984.3.30

いよいよ、1年目の最後です。



格技場神事①。儀礼を通して安全を祈念します。

...

・ セクション 15 ・

## 格技場神事・部室入室行事

1984.3.30

いよいよ、1年目の最後です。



格技場神事②

...

・ セクション 15 ・

## 格技場神事・部室入室行事

1984.3.30

いよいよ、1年目の最後です。



部員たちが集合し、クラブハウスの完成を祝します。どんな思いで参加したのだろうか？

...